

ASC 基準について

- ・地域の生態系保全のため、養殖魚が逃亡しない対策を講じ、また、逃亡履歴記録します。
- ・地域の生物多様性保全のため、野生動物の殺駆除を行いません。
- ・養殖施設では音響退避装置を使用しません。
- ・養殖場で発生した非生物系廃棄物を海上に廃棄しません。

自然環境の生態系に影響を与えぬように日々点検し、逃亡防止に努めています。

自然環境と野生動物へ配慮し、影響が最小限となるように努めています。

野生動物の殺駆除は行わず、海洋哺乳類に影響がある音響退避装置を使用しません。

野生動物の偶発的な死亡が発生した場合には調査・対策を行い再発防止します。

期間	逃亡発生件数	野生動物死亡件数	備考
2021年11月～2022年7月	0件	0件	
2022年11月～2023年7月	0件	0件	

- ・遺伝子組み換えのサーモン養殖は行いません。
- ・養殖において、薬剤、害虫駆除剤等は使用しません。

遺伝子の組み換えをした魚は導入しません。また、薬品等の使用歴もありません。

- ・サケジラミの調査・報告を実施します。
- ・常に寄生虫、魚病の発生を確認し、養殖魚の健康管理に努めます。

養殖魚が天然のサケマスに影響を与えぬように、天然、養殖の両者のモニタリングを行っています。

特にサケジラミについては常にモニタリングを行い、動向を確認しています。

天然のサケマスについては、当社の定置網に入り、市場に水揚げされた野生種を目視で確認しています。

<野生種結果>

観測日	魚種	観測尾数	サケジラミ数	サケジラミ率(匹/尾)
2023年4月24日	サクラマス	10	4	0.40
2023年4月27日	サクラマス	4	0	0.00
2023年5月2日	サクラマス	16	15	0.94
2023年5月10日	サクラマス	9	0	0.00
2023年5月19日	サクラマス	8	10	1.25

2023年5月26日	サクラマス	10	3	0.30
2023年5月27日	サクラマス	2	0	0.00
2023年11月16日	サクラマス	2	4	2.00

養殖場では、へい死魚の回収を定期的に行い、サケジラミ等の寄生虫が付着していないか目視で確認しています。

<養殖場結果>

2022年11月～2023年7月 0匹/尾

2023年12月～2023年12月 0匹/尾

※暫定基準値 0.2 匹/尾

※サケジラミ被害がほぼ無いため、駆虫薬等の薬品使用歴はありません。